

医療従事者確保対策に係る取組状況等調査結果

回答数	19
-----	----

●医療従事者確保の取組

行っている	9
行っていない	10

●取組内容

実施回数		対象者	内 容
令和 5 年	令和 6 年		
32	34	看護学生 ・薬学生 など	道内養成校への学校訪問による制度説明など ※他機関主催等による取り組みはあり。 ・人材紹介会社主催の看護師（看護学生）向け就職説明会（札幌・東京など） ・学校主催の就職説明会（札幌市立大学・北海道科学大学など） ・根室高校からのインターンシップ受入 ・根室市内中学校からの職場体験受入 ・教育委員会主催の地域医療を支える人づくりプロジェクトによる高校生受入 ・看護協会根室支部主催の看護師体験（小中高対象）
3	5	高校生、 看護学生	・根室高校3年生の保護者向けの修学資金貸付金説明会 ・北海道科学大学と根室高校生との座談会での修学資金貸付金の説明 ・札幌保健医療大学キャリアビジョンセミナーへの参加（予定） ・道内看護学校への訪問
1	1	地元 高校生	将来、救急救命士を目指すきっかけとなることを目的とし、救急医療週間に併せて高校生を対象とした救急救命士体験学習を毎年開催しています。 学習内容は、救命士が行う救命処置の説明や救急訓練体験、救急車内見学を行っています。
2	2	高校生	高校への訪問周知及び町広報誌を利用した貸付制度の周知。
通年	通年		ハローワークでの募集、ホームページでの募集、医療関連校の訪問 など
3	4	高校生、 看護学生 、薬学部 生	・看護学校訪問 ・薬学部のセミナー参加 ・修学資金説明会開催（高校訪問） ・看護部独自イベント （看護の日における商業施設でのイベント、夏祭りでのブース設置）
0	0	医師 看護師 地元 中高生	イベントなど集合方式で実施したものはないので、上記の回数は記載し難く、本調査の対象となる取り組みが分かりませんが次のとおり行っています。 医師転職支援コンサルタントを活用し、医師の確保を図っています。 また、町役場全体の取り組みの中で人材確保のため転職サイトを活用しており、看護師についても当該サイトに掲載しているところです。 このほか、地元の中学校、高等学校からの依頼により、職場体験などの受入れを行っています。
4	5	高校生、 看護学生 、現役看 護師等	東京、大阪での移住セミナー参加、羅臼高校での進路セミナー開催、道内看護学校への支援制度紹介訪問
2	2	看護学生 など	◎日本赤十字北海道看護大学：町立病院看護部長と合同就職説明会参加（R5.R6） ◎厚生労働省委託「保健師人材確保支援のためのイベント」参加（R5） ◎北海道内市町村保健師合同就職説明会参加（総務課とともに）（R6）

●アンケートを踏まえた対応

新たな取り組みを実施予定	0
新たな取り組みが必要か検討する	0
既存の取組を継続する	13
その他	5
未記入	1

※その他内容

検討中
業務的に医療従事者はいないため
個別に中高生の見学研修受け入れ・薬学生の実習カリキュラム

●根室地域全体での取組

必要だと思う	13
どちらかといえば、必要だと思う	5
どちらかといえば、必要ないと思う	1
必要ないと思う	0

※理由

『キラリ☆未来ナース』の企画については、報告事項より一定の効果が得られているとの評価があり、今後も修正を加えながら継続していく必要があると思います。 今後は高校生の全学年が参加するよう試みが必要との評価がありましたが、他に小・中学生へ向けた医療職のアピールも何か出来ると良いと思います。
今年度の事後アンケート結果において、参加前よりも地元病院への関心が向上しているのので、根室地域全体でのオープンキャンパスのような取り組みは必要だと思います。
キラリ未来ナースの様な訪問型の取組が有効と考えます。
看護師を志している学生の参加が主であり、参加者が少ないため、進路に迷っている学生等を取り囲んでいけるような周知が必要だと思う。 釧路管内養成校への進学者が減っていると聞くため、地元近くでしっかり学べるという魅力を伝えていき管内で養成し還元できるようにしていく必要があると思う。
医療も福祉も職員不足ですので、当然人員確保の取り組みが必要と考えます。 福祉に関しては、教師や進路担当者から「介護はやめとけ」というように言われたという高校生の話はよく聞きます。医療も福祉も「忙しくて大変」が広がっているのは、私たち自身にも責任があると感じています。私自身も管理者として業務効率等を常に考えて改善しています。しかし、医療も介護、また、それ以外の業務もそうですが、その魅力、やりがいに気づいてもらえることが一番だと思っています。その為に私たちも常に学びの機会を確保し、モチベーションアップに務めています。
看護師の仕事を経験してもらうことで興味をもってもらえるような取り組みが必要（看護体験など）
看護師に限らず医療従事者確保は全国的な課題であると考えますし、離職や転職などして辞めてしまう方が多いと思います。過酷な職種だからこそ、支援やバックアップが必要不可欠だと思いますし、勤務条件や手当の支給など、環境を整えていくことが重要だと思います。また、それら環境整備によって目指したいと感じる方も増えていくのかなと思います。
職業体験と説明会は興味を持っている学生に対して効果的なアピールになると思われるため。
単体の医療機関における募集活動よりも、特に医療技術職を志望する学生に向けては各機関や居住地の特色などを比較したうえで検討できる機会となることから、説明会や体験会を合同で実施することには一定の意義があると感じる。
小学生、中学生、またその保護者を対象とした説明会の開催。根室市には医療従事者等へ修学資金貸付制度があります。根室市と連携しこの制度を希望者に理解していただき利用していただくはたらきかける。

<p>医療従事者の確保対策は、根室地域全体で取り組むべき問題であるため、一つの機関だけではなく、スケールメリットを活かした対応が必要かと思う。</p>
<p>医療関連のしごとに興味のある生徒が、実際に働いている人の話を聞けたり、仕事の一部を体験できたりする機会はほかにはないと思いますし、根室地域においては、単独の自治体・医療機関では、事業効果が非常に薄いものと考えます。</p> <p>これまで、行ってきた「キラリ☆未来ナース」の内容を踏襲するようなものがよいのではないかと思います。</p> <p>加えて、道外（管外）の医療従事者（医療系の学生）に向けて、根室地域の魅力（自然や食など）を含めた情報発信を行うことでこの地域に目を向けてもらうことも重要だと考えます。</p>
<p>各々取り組むよりは地域全体で取り組む方が効果があるように思います。</p>
<p>比較的過疎地域には医療従事者を確保するのが大変難しいと考える。そのため、組織的に連携を図ることが必要と思われる。</p>
<p>現時点において医療従事者の確保が十分に図られているとはいえない状況で、あらゆる取り組みを実施しながら長期的視点で取り組んでいくことが必要であるとする。</p>
<p>どのような取り組みが必要かは、判然としませんが、根室地域一体となって、現在提起されている課題或いは将来想定される課題を、各地域・各機関が共通認識とし、取り組んでいくことは必要だと思います。</p>
<p>Uターン・Iターンの希望のある方や地元出身の医療系学生を対象としたもの</p>
<p>「キラリ・・・」は看護師が参加していたと思います。従来の企画は看護師で就職することにテーマがあった企画だったとおもいますが。保健師過程に進むには各大学の選抜試験を突破した一部の学生しかその教育を受けることが出来ない実態にありますし、地元の中高校生を対象とすると限りなく少数になるとおもいますので方法論は変更しなければいけないと思います。根室地域全体で実施するメリットが明確でないとも思います。</p>

●意見・要望

<p>今後も企画の継続が必要だと思います。</p>
<p>医療従事者の過酷な労働環境を少しでも改善させることが必要不可欠だと思います。</p>
<p>小中高の児童、生徒、保護者への直接の説明（修学資金貸付制度を含んだ）が必要と思われる。地方自治体（根室市）と綿密な話し合いと強力な協体制の構築。</p>
<p>もう少し参加者が多ければよいのですが、少子化も進む中難しいですが各学校に協力してもらうなど必要かもしれません</p>
<p>ある調査では、医療従事者の不足に対する効果的な対策は、「待遇や労働環境の改善、デジタル技術を活用した業務負担の軽減」とされています。また、本年3月に実施した医療従事者へのWebアンケートにおいても、特に「給料」の課題が提起されています。医療従事者の確保については、医療法の改正を行うなど対応をしていることは承知していますが、医師を始め医療従事者の不足が叫ばれて、20年以上経ているにもかかわらず、これらの課題が解決されない現状を鑑みて、結局は、国が、医療従事者に対する賃金や手当等の処遇改善をはじめ、諸課題の解決に向け、さらに法整備を含め実行性のある取り組みが必要であると思います。</p>
<p>看護師だけではなく医療系や介護系の広い分野での確保が必要だと思われるので方法を探って頂きたい</p>
<p>どの医療従事者を確保しようとするかによって、対象者や介入時期や方法も変わるとおもうので「キラリ・・・」を医療従事者確保対策とひとくりにすることに無理があるものと思います。</p>